

年間授業計画

科目名 (単位数)	数学Ⅲ(6)	教科書: 高等学校 数学Ⅲ(数研出版)
対象学年	3	副教材1: Study-Upノート 数学Ⅲ
履修形態	自由選択	副教材2:
講座数	1	副教材3:
科目の目標	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	第3章 関数 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	・分数関数、無理関数について、グラフと漸近線をかく ・逆関数、合成関数を求める ・数列の極限の収束、発散を判定し、極限値を求める ・無限級数の収束、発散を判定する ・いろいろな関数の極限値を求める ・関数の連続性を調べる
1学期期末	第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第6章 微分法的应用 第1節 導関数の应用 第2節 いろいろな应用	・微分係数の定義にしたがい、微分可能性を確かめる ・いろいろな関数の導関数を求める ・第n次導関数をもとに、変曲点を含めた増減表をかく ・凹凸や極限を調べることで、グラフの概形をかく ・微分の知識を速度や加速度、近似式に応用する
2学期中間	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法的应用	・いろいろな関数の不定積分を求める ・不定積分を求めるために、置換積分や部分積分を利用する ・いろいろな関数の定積分を求める ・区分求積法で極限を求めたり不等式を証明する ・積分の計算を面積、体積に応用する ・積分の計算を平面上の道のりに応用する
2学期期末	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	・複素数と複素数平面上の点を対応させる ・複素数の計算と複素数が表す図形を結びつける ・複素数を極形式に変形する ・ドモアブルの定理を用いて、n乗根を求める ・放物線、楕円、双曲線のグラフをかく ・曲線の平行移動を式で求める ・曲線を媒介変数表示、極座標で表す
3学期	・入試問題	・様々な入試問題について学習する
評価の 観点と方法	定期考查において主に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」について評価し、授業内での取り組みや提出物において主に「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。	